

「松田先生の米寿をお祝いする会」

この夏の暑さをそのまま引きずっているような9月も最後の日曜日(29日)、有志が集まってその会は開かれました。松田二郎先生が鶴岡南高校で初めて担任になられた年に入学した生徒(昭和36年卒、68回生)で、おもに鶴岡在住の25人の面々です。

夕方、4時半の受付開始の頃にはもう大分集まって、懐かしい友の顔を見つけては笑顔で声を掛け合い、握手をしています。卒業来初めて会う友もいて名札を見て確かめ合い「久しぶりだのお」と、やりあっています。

5時少し前に松田先生ご夫妻がお見えになって、みんな一様にほっとして場が和みます。

会に先立って記念撮影。ホテル側が用意してくれた黄色のちゃんちゃんこ帽子を先生は素直につけてくださって中央のお席に。あとはみな適当にひな壇にならんで、パチリ。

撮影してくれた富樫 捷士さんは先生がちゃんちゃんこを素直に着て下さるかどうか心配だったと後でそつとつぶやいていました。

いよいよ会の始まりです。大きな楕円のテーブルを囲んで係が工夫を凝らして作ってくれたくじ引きをひいてそれぞれの場所に着席。まずは先生の米寿を祝して乾杯!! 実は静子夫人も傘寿(ちょっとお気の毒なのですが、数え年でむりやり)私たちは喜寿なのです。三つのお祝い歳のひとたちが集うのも非常に珍しいことでした。これにも乾杯!!

本日の会のお料理は秋限定の洋食コースです。最初はオードブル。(庄内鴨と秋フルーツのサラダ仕立て) オードブルを頂きながら今回の会の発起人である江口育子さん、真島浩子さんのご挨拶と発起人となるに至った動機の説明がありました。お二人とも高校に入学してすぐの担任が松田先生でした。多感な美少女二人は若き松田先生と出会われて担任として、国語の教師として3年間折に触れ貴重な言葉をかけていただいたそうです。

そんな松田先生が幾度にも及ぶ心臓の手術をなさって「あと何年持つかなあ」と、時に気弱になられる事もあると耳にして、この米寿の年にお祝いしなければ後悔することになるだろうとお二人は意を決したというわけです。現在仙台と横浜に住んでおられるお二人は鶴岡在住の同級生にいっぱい助けていただきながらこの日の会に漕ぎ着けられました。

まず江口さんから松田先生に感謝の花束贈呈。(バラを中心に両腕に抱えきれないほどの素敵な花束でした。) 真島さんは自分が精神的に辛かった時に、松田先生からはげましの言葉をかけていただいて乗り越えられたエピソード等々話されました。

そして松田先生のご挨拶がありました。「わたしのためにこのような心温まる会を開いてくださってありがとうございます。」「本当に教師冥利につきます。いや人間冥利につきます。」

「わずか高校での3年間の交流が起点となって、今日まで長くお付き合いが続いていることを本当にうれしく、ありがたく思っています。」 そのあとは先生が思い出されるままに当時の修学旅行での話やマラソン大会。クラブ活動での合宿のことなど、担任や授業以外のことでも実によく鮮明に覚えておいででした。教え子の一人一人の名前までよくご記憶で、われわれにとっては忘れていただきたい事柄までも・・・そう言えば松田先生は私たちに年齢が近かったせいもあって相談したいことはまず松田先生、面倒な話程先ず松田先生、話がまとまってから担任や顧問の先生に相談ということがしばしばあったようです。

静子夫人からもお話を頂きました。松田先生とのおつきあいのはじまりは弟さんの誠さんが先生に相談に行く時に一緒にくっついていかれたのがきっかけだそうです。その後同じ大

学に進まれ、同じ国語教師の道を歩むことになられたわけです。静子夫人はずっと二郎先生を尊敬なさっておられるそうでこの場でも感謝をのべておられました。信頼しあい素晴らしいおふたりでした。

この時お料理は、スープ、パスタと進んで4皿目の魚料理(サーモンと白菜のブレゼ 菊と柚子の香り添え) 飲み放題のお酒もまわってにぎやかに歓談。隣同士、はるばる遠征してまたそこで盛り上がる。

久々に同窓会に芦屋から出席された難波 誠さん、母校で教師をされていた東野 彰さん、この会のとりまとめ役をやってくださった森 久市さんから先生との思い出話等していただきました。肉料理(スコッチエッグ きのこのデミグラスソース秋野菜添え)がでたところに全員起立し校歌斉唱となりました。先導の武田 清志さんは朗々とした良いお声の持ち主。その上だいぶお酒もいただいたようで南高の校歌ばかりか北高、鶴工の校歌までご披露におよびました。

またしばらく歓談するうちに鶴岡シルクと庄内米のパンなるものが出て最後のデザート(安野リンゴ園のアップルパイとアイスクリーム)が出て秋のフルコースは終了。この時点で予定の時間を15分オーバー。

今回の司会の加賀山 捷三さんの「話は尽きませんが今回はこれにて終了」宣言

次に松田先生の「白寿」と私たちの「米寿」のお祝いで集う事が出来るように祈念して三本締め。楽しい会は終わりました。帰路に向かう頃には外は昼とは違い秋の気配でした。

去る4月27日36年度、40年度、48年度、54年度の卒業時松田先生担任のクラスの有志の方々が集まって合同で「松田先生の米寿を祝う会」が第1ホテルでありました。76名の盛大な会だったようです。荘内日報にもこの時の模様は報じられました。48年度の斎藤 俊治氏の格調高い文章で会の説明がありましたのでお読みになられた方も多くいらっしゃると思います。

今回68回卒組の担当は木邨周子がいたしました。たまたま今回東京からの参加者が一人だけだったので一番ふさわしくない者にお鉢が回ってきてしまいました。乱文お許してください。おばあちゃんの世間話とでもとらえてお笑い種にしてください。

会場 グランドエル・サン 2019年9月末木邨(旧菅沢)記